

南河内に歴史ロマンを求めて

小西 豊信

【目的】

歴史と伝統の息づく地、南河内は神社仏閣・史跡等が多く、観光のみでなく古墳など学術的にも貴重な所であり、また訪れる人の心を癒すという面も持っている所でもある。こうした土地の魅力を紹介することで、南河内における観光事業のより一層の活性化を目的とする。

【内容】

南河内は広いため歩きやすいように、3つのコースに分ける。1コースは太子町、2コースは羽曳野市、最後のコースは富田林寺内町と千早赤阪村とし、併せて、これら地域で開催される祭やイベントをとりあげる。

ハイキングコースは、自治体等の観光ガイドブックに載っているものの、次のような傾向がある。①距離が長く、健脚向きのコースが多い。②距離は短い、厳しい坂道がある。③見るべき観光地が、コースに少ない。④コースに食事をとる場所の記載がない。こうした点を考慮して、無理なく観光地を楽しめるように、モデルケースとして上記の3コースを設定した。

大和で政治を執った聖徳太子の御廟は、なぜ河内にあるのか。太子廟には七不思議と言われる話がある。太子廟や推古天皇陵を見守るかのような小高い丘の上に、遣隋使として重用された小野妹子の墓があるのはなぜか。先に亡くなった竹田皇子と共に大和飛鳥（遠つ飛鳥）に葬られた推古天皇の御陵が河内飛鳥（近つ飛鳥）にあるのはなぜか。大和飛鳥の山田寺で自害した、持統天皇の祖父にあたる蘇我倉山田石川麻呂の古墳が河内飛鳥にあるのはなぜか。南河内には歴史ミステリーの興味がつきない。

【結果】

南河内は豊かな自然と歴史遺産に恵まれ、まさに歴史ロマンを求めて歩くのに、ふさわしい地である。そこで次のとおり2つの案を提案する。1案は歴史ロマンを求めて3つのコースを歩くとともに、祭やイベントに参加していただくこと。2案は祭やイベントの情報の連携である。イベントに来られた人をその日だけに終わらせるのではなく、来られた人に各地で開催する予定の、祭やイベントを記載したパンフレットを配布するのである。1つのイベントに参加される方は、別のイベントにも参加してもらえることが期待できる。観光業務を担当する人達が協力して、イベント等の情報をわかりやすく整理したパンフレットを作成するのである。経費が小さい割に、効果は大きいと考える。

1. 太子町コース（飛鳥の時代をゆく 約5km）

飛鳥時代は、聖徳太子や推古天皇、小野妹子らの活躍した時代であり、仏教文化を中心とした飛鳥文化の花が開いた時代でもある。このコースは、聖徳太子ゆかりの史跡や古墳などをめぐり、1400年前の昔に思いをはせることにある。

近鉄長野線「喜志」駅—（バス）→バス停「太子前」—1分→叡福寺—2分→聖徳太子御廟—4分→西方院—17分→鎌田邸の楠—15分→大道旧山本家住宅—3分→孝徳天皇陵—7分→太子町立竹内街道歴史資料館—4分→道の駅近つ飛鳥の里・太子（食事）—16分→科長神社—3分→小野妹子墓—14分→二子塚古墳—3分→推古天皇陵—9分→仏陀寺古墳—3分→バス停「御陵前」—（バス）→近鉄長野線「喜志」駅

①叡福寺

正式には磯長山聖霊院と号し、上ノ太子の名で親しまれている。寺伝によれば聖徳太子の死後、太子の墓を守護し追福するために、推古天皇により創建されたものという。国の重要文化財の指定を受けた聖霊殿、多宝塔をはじめ、金堂など十数棟の葺が並ぶ。

②聖徳太子御廟

聖徳太子は、推古天皇の摂政となり、十七条憲法や冠位十二階の制定、遣隋使の派遣など隋と国交を開き、進んだ政治制度や文化を取り入れた。聖徳太子御廟は太子自身と太子の母 穴穂部間人皇后と妃の膳郎女が葬られており、三骨一廟と呼ばれている。太子廟の七不思議については、次のとおり。

- 〈1〉樹木が生い茂った御廟内には、松や笹が生えない。
- 〈2〉鳥が巣を造らない。〈3〉大雨が降っても御廟の土が崩れない。
- 〈4〉御廟を取り巻く結界石は、何度数えても数が合わない。
- 〈5〉メノウ石に太子の御記文が彫られたものが太子の予言どおり発見された。
- 〈6〉御廟の西にあるクスノキは、母后を葬送したときに、太子自ら棺をかついだ楠の轆（ながえ）を挿したものが芽をふき茂った。
- 〈7〉894年（寛平6年）、法隆寺の康仁大徳が御廟内を拝見した時、太子の着衣は朽ちていたが、その遺骸は生きてるように温かくやわらかかった。

③科長神社

平安時代の延喜式に記録された、太子町で唯一の式内社。級長津彦命、級長津姫命など8柱を祀るため、八社大明神とも呼ばれている。

④小野妹子墓

7世紀の始め、推古天皇の時代、聖徳太子が中国の隋へ使者として送った遣隋使。小野妹子墓と伝えられる小塚は、科長神社の南側の小高い丘の上にある。

⑤推古天皇陵

日本で最初の女帝、第33代推古天皇と、その子、竹田皇子の合葬陵とされている。先進的な政治制度や文化を積極的に取り入れ、内政改革を進め仏教文化を中心とした飛鳥文化の基礎を築いた。

⑥仏陀寺古墳

仏陀寺境内のすぐ隣にあり、中大兄皇子に協力して「乙巳の変」を成功させた蘇我倉山田石川麻呂の墓とされる。1972年（昭和47年）大阪府指定史跡となる。

2. 羽曳野市コース（源平の時代をゆく 約3 km）

源頼信は河内源氏の祖とされ、その子孫は源頼朝へと続く。このコースは、国指定の史跡である源頼信、源頼義、源義家の源氏三代の墓や、河内源氏ゆかりの壺井八幡宮、通法寺跡をめぐる源平の時代のロマンを感じることにある。

近鉄南大阪線「上ノ太子」駅→20分→壺井八幡宮→7分→通法寺跡→3分
→源氏三代の墓→22分→泥掛地蔵→5分→まいてん（食事）→2分→バス
停「太井川」→（バス）→近鉄長野線「喜志」駅

⑦壺井八幡宮

1064年（康平7年）、前九年の役で戦勝凱旋した源頼義と義家父子が、私邸の東側に社殿を造営し、河内源氏の氏神である石清水八幡宮の神霊を勧請したのが始まりで、これより源氏棟梁の河内源氏の総氏神となる。

⑧通法寺跡・源頼義墓

河内源氏の氏寺であった通法寺境内に源頼義の墓がある。通法寺は、1043年（長久4年）に建立、源氏の没落とともに衰退するが、江戸時代に徳川綱吉が再建。1873年（明治6年）廃寺となり、今では山門と石垣と鐘楼を残すのみ。

⑨源氏三代の墓

通法寺境内に源頼義の墓。通法寺の前面には御廟谷の丘陵があり、丘陵上には源頼信と源義家の墓がある。一帯は河内源氏の発祥地であり、河内源氏の歴史を伝える遺跡として、1957年（昭和32年）に国の史跡に指定。

3. 富田林寺内町・千早赤阪村コース（太平記の時代をゆく 約4 km）

このコースは、歴史的な景観が味わえる富田林寺内町と、楠公さんゆかりの史跡をめぐる、その時代のロマンを感じることにある。

近鉄長野線「富田林」駅→6分→富田林寺内町・八町茶屋（食事）→6分→
近鉄長野線「富田林」駅→（バス）→バス停「赤阪中学校前」→5分→
下赤阪の棚田→19分→楠公産湯の井戸→3分→楠公誕生地石碑・千早赤阪村
立郷土資料館・道の駅ちはやあかさか→6分→奉建塔→9分→建水分神社→
20分→カタロ（食事）→1分→バス停「森屋」→（バス）→「富田林」駅

⑩富田林寺内町

富田林寺内町は、旧杉山家住宅、仲村家住宅など、個々に文化財として価値の高いものがあり、町そのものが日本の優れた文化遺産として、大阪府で唯一、1997年（平成9年）国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

⑪下赤阪の棚田

千早赤阪中学校の裏に「史蹟 赤坂城址」の石碑が建っており、この高所から西に広がる棚田は、1999年（平成11年）に農林水産省が選定した「日本の棚田百選」の一つに数えられる。

⑫楠公誕生地石碑

楠木正成誕生の地という伝承が残る場所。大久保利通が1875年（明治8年）この地を訪れ史跡の保護と顕彰をすすめて、誕生の地に石碑を建立する。毎年、正成公が誕生された日と伝えられる4月25日は、石碑前広場で楠公祭が開催される。

4. コースの比較

次の表は、設定したコースで開催されている祭やイベントをまとめたものである。この表以外にも、太子町の道の駅では「ぶどう祭り」や「感謝祭」が、富田林寺内町では「石上露子生誕祭」や「じないまち古書散歩」が開催されるなど、南河内は四季を通して賑っている。

各コースの比較

	1. 太子町コース	2. 羽曳野市コース	3. 富田林寺内町コース 千早赤阪村コース
① 最寄駅	近鉄長野線 喜志駅	近鉄南大阪線 上ノ太子駅 近鉄長野線 喜志駅	近鉄長野線 富田林駅
② 食 事 買 物	<ul style="list-style-type: none"> 竹内街道沿いの道の駅「近つ飛鳥の里・太子」では休憩や軽食、お土産も買える。「おこわ」や「山菜弁当」、春なら山菜、朝掘り筍など安くておいしい季節には、特産の「ぶどう」や「みかん」が並び「太子ワイン」も購入できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 太子町内にある泥掛地蔵を過ぎてすぐの所の「オムライス弁当まいてん」は、お持ち帰り専門であるが、一度は食べたい。 「まいてん」近くの好月堂の太子最中は、ゆずあんが美味しい地元の老舗和菓子店。 	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者の休憩場所や情報の提供を目的に、じないまち交流館が開館している。この交流館前に食事処「八町茶屋」が営業している。手打そばと、河内名物の「赤ねこ餅」がおいしい。 喫茶・軽食等の店、太平記の里「カタロ」は、バス停「森屋」が近くにあり、交通の便利が良い。 道の駅「ちはやあかさか」では、地域で採れた野菜や果物が並ぶ。また、史跡めぐりの出発点として車をここに置いて楽しむのに良い。
③ イ ベ ン ト ・ 祭	<ul style="list-style-type: none"> 叡福寺大乘会式（太子まいり） 毎年4月11日 12日 太子聖燈会 毎年4月中旬の 土曜日・日曜日 道祖祭 （小野妹子墓前） 毎年6月30日 科長神社 夏祭り 毎年7月の 第4土曜日 日曜日 竹内街道灯路祭り 毎年10月中旬 	<ul style="list-style-type: none"> 通法寺跡 お花見（桜） 軽トラ市 毎年4月 壺井八幡宮 壺井八幡宮例大祭 毎年5月15日 壺井権現社例大祭 毎年10月 17日 弓馬術礼法小笠原 教場 奉納神事 毎年5月 又は6月 	<ul style="list-style-type: none"> 寺内町四季物語春 「じないまち 雛めぐり」 毎年3月中旬 寺内町四季物語夏 「寺内町燈路」 毎年8月下旬 寺内町四季物語秋 「後の雛まつり」 毎年10月中旬 寺内町四季物語冬 「新春初鍋 めぐり」 毎年1月中旬 建水分神社 春祭り （通称 くすのきさん） 毎年4月25日 楠公祭 （楠公誕生地石碑前） 毎年4月25日 建水分神社 秋祭り （だんじり祭り） 毎年10月 第3土曜日 日曜日 棚田夢灯り 収穫祭 （棚田のライトアップ） 毎年11月上旬

5. おわりに

私の住む大阪狭山市では、昨年5月2日と3日に「狭山池まつり」が開催されたが、いつもの静かな散歩道は、驚くほどの混雑であった。約3kmの池の周りを歩く人の多くが、祭のために作られたパンフレットを手に入れている。イベントに来る人に、他の地域のイベントや祭、観光地を紹介したパンフレットを配れば結構、そこへも来てもらえるのではないかと考えたのはこの時である。パンフレットは机の上に置けば、興味のある人が持って行ってくれる。適宜、補充すれば良いだけである。